

地質サイトカード

カードNo.	A-③-1	通しNo.	24	作成日	2024/7/19
サイト名	<div>こうら</div> 古浦海岸の貝化石				
基本情報	エリア	島根半島 探検サイト			
	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 地質・地形	<input type="checkbox"/> 生態	<input checked="" type="checkbox"/> 文化	
	利用価値	<input checked="" type="checkbox"/> 科学	<input checked="" type="checkbox"/> 教育	<input type="checkbox"/> 観光・ツアー	
	所在地	松江市鹿島町古浦海岸			
	アクセス	山陰道 松江ICから約17km、約25分。古浦海水浴場の岸边を東南へ約250m。途中から岩場になる。			
	周辺施設	<input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 売店 <input type="checkbox"/> 飲食店 <input checked="" type="checkbox"/> 駐車場(海水浴場の100台程度) <input type="checkbox"/> ウォーキングコース <input type="checkbox"/> サイクリングコース <input type="checkbox"/> 観光施設()			
	看板整備				
	留意点				位置情報
保護・保全	法規制・関連団体等				
	保全メモ				
サイトの解説	みどころ	約2000万年前の淡水性貝類化石群集。			
	地質・地形	古浦海水浴場の西方の海岸には、約2000万年前に、河川や湖で形成された古浦層が分布し、この場所は古浦層の模式地に指定されている。ここには数cmから10数cmの厚さで砂岩層と泥岩層が交互に重なった地層、厚さ数mm～1 cm前後で淡灰色の層と暗灰色の層が交互に重なり、きれいな縞模様(平行葉理)が発達した泥岩層、及び灰色塊状泥岩層などが連続的に露出する。塊状泥岩にはコササヒメタニシという大きさ1cm程度の淡水生巻貝が密集している。他にもガマノセガイやクサビイシガイの仲間など、今では中国等の大陸に生息する淡水棲二枚貝の化石も見つかる。このように、古浦海岸は当時の湖沼にはまだ大陸の名残のある生物がたくさんすんでいたことを物語る貴重な場所になっている。			
	歴史・文化 生物・生態 等	海岸の砂丘地帯に弥生時代前期を中心とする埋葬遺跡があった。人骨32体があり、頭部に緑青の跡が残る人骨があり、また二枚貝製の貝輪を腕につけている骨があるなど、当時の埋葬習俗を知る貴重な遺跡である。また、鹿角製のト骨がある。出土資料は、佐太神社隣の鹿島歴史民俗資料館に保管、展示されている。			
写真・図等					
	参考文献	島根地質百選、島根半島四十二浦巡りの旅、鹿野和彦・中野 俊(1986) 恵曇地域の地質、大久保雅弘編(1980) 改訂山陰地学ハイキング、たたら書房、149p.			